

2022年 7月 28日

報道機関 各位

## 長崎大学経済学部生が島原半島の神代（コウジロ）で町おこし企画 ～クラフトワークショップを8月6日（土）開催～

長崎大学経済学部イノベーション実践研究の西村ゼミでは、雲仙市国見町神代（コウジロ）の町おこし団体である神代文珠会とともに神代の町おこしに取り組んでいます。神代の商店街を活性化し、観光客が訪れる街にすることを目標としています。

神代の強みは、重要伝統的建造物群保存地区に指定された鍋島藩ゆかりの小路地区の歴史と島原半島の豊かな自然です。この強みを生かした取り組みとして、西村ゼミは、空き家を活用したクラフトワーク店舗の運営を提案しています。

また、地域活性化のためには、まず、神代の人々が町の良さを理解し、誇りを持つことが第一歩だと考え、神代在住の小学生とその親を対象としたクラフトワークショップを以下のとおり開催します。ワークショップでは、神代文珠会の会員である木田木工所の木田さんにご指導いただき、竹を利用して国見町の特産物であるタイラガニをモチーフにした作品を地域の空き家を活用した施設で作ります。



親子で製作するカニ細工の例

### ○ワークショップ日程

- ・日程 8月6日（土）
- ・時間 13:30～16:30（所要時間 180分）
- ・場所 趣蔵 神代ふれあい館（雲仙市国見町神代乙 360）

材料収集場所 長浜海水浴場（雲仙市国見町神代）\*変更の可能性あり

### ○概要

- ・親子に神代のふれあい館に集まっていただき、ワークショップの内容について説明する。
- ・竹でカニを作ってワックスを塗る。
- ・ワックスが乾くまでの間にジオラマを飾る材料を収集しに神代海岸などを散策する。
- ・集めた材料でジオラマを飾り付ける。
- ・完成品を夏休みの思い出として各自持って帰る。

## ○ポイント

### 1) 神代の商店街を活性化させるために神代の空き家を利用する

- ・ この活動は、昔のように商店街を復活させ、長崎新幹線の開業にあわせて島原半島の観光資源の一つとして神代地区を認知してもらうことを最終目標としている。商店街に点在する空き家を活用したクラフトワークの店舗や昭和テイストのコミュニティースペースを作ることで景観を壊さずに、街を活性化することを目指す。
- ・ このワークショップを契機として、空き家の活用についての町民の意識を高め、空き家を活用した街づくりの風土を醸成する。

### 2) 作品に使う素材は神代の自然を生かしたものを自ら探して、利用する

- ・ この活動では神代の強みである海から山までの豊かな自然と歴史に触れ、探求心を育てる取り組みとして実施する。今後さらに改善を繰り返しながら、雲仙市・島原市・諫早市の家族連れ、さらにはより遠方からの観光客を対象としたスポットに育てる。
- ・ クラフトワーク素材を集めるときに歴史あふれる街を散策しながら、神代について知ってもらう。

### 3) 親子が一緒に楽しめる

- ・ 小学生だけではなく、親も全ての活動に参加することによって、親世代にも神代について知ってもらい、親子で一緒にモノづくりをすることで、夏休みの思い出を作る。

#### 【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学経済学部西村ゼミ

担当：津曲<sup>つまがり</sup>、田中<sup>たなか</sup>、成富<sup>なりとみ</sup>、射場<sup>いば</sup>、ヤン

メールアドレス：kojiro.nishimurazemi.2022@gmail.com 電話番号：080-8557-9935（津曲）

担当教員：西村宣彦([nishimra@nagasaki-u.ac.jp](mailto:nishimra@nagasaki-u.ac.jp)) 電話番号：090-8392-4598（西村）